

第9回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（江山の宝応援部会）概要について

1 日 時 令和元年10月17日（木） 19時 ～ 20時30分

2 会 場 大和地区公民館

3 出席者 【委員】江山の宝応援部会員11名
【教育委員会事務局（教育総務課）】職員2名

4 議 事

（1）広報紙の内容について

○「江山の明日」10月号のテーマについて協議を行いました。夢イベントの内容を加えること、12月8日の「中間報告会」をもう少しアピールしたほうがよいことなどを話し合い、原稿を次回準備委員会で確定させた後、発行することとしました。

（2）学校応援組織について

今後の具体的な動きについて、検討するため、前回の復習を兼ねて、鳥取市の方向性について、事務局の説明を聞きました。

【事務局より説明】

- 運営協議会委員は校長をトップとして学校が組織する。
- 運営協議会と両輪となる「地域学校協働本部」を設置する動きが広がっている。
- 「地域学校共同活動」のひとつとして「学校応援組織」がある。
- 前回、お伝えしたコーディネーターを置くと、より活動が円滑になる。
- 強制力が働くような組織でなくゆるやかなネットワークが望ましい。

【協議】

学校応援組織については、3校が一緒になるので、それをつなげるようなゆるやかなネットワークづくりが必要であることを全員で確認しました。そのあと、現在の美和小、神戸小、江山中に関わってくださっているボランティア組織を紹介していただきました。

美和小では、自発的にやっていた組織が多い、神戸小では、統合を機に活動を解散しようという動きがでて、江山中では役に立ちたいという思いは強いが、来年以降どうしたらよいか分からないといった声が出ていることが報告されました。委員から、なくなるボランティア組織があるというのは非常に残念である、学校がこんな教育がしたい、だからこそこのようなボランティア組織が必要ということを強くアピールすることが必要、といった意見が出ました。

部会長より、公民館長や各組織の長を集めて、一度会議をしてみる必要があることや、現在の状況であるからこそ、3校をつなぐ学校応援組織をつくる必要があることが確認されました。

【今後の進め方】

次回準備委員会で以下のことについて了解を得ることを確認しました。

- ・江山学園の学校応援団をつくる（名称は後日）
- ・組織についての説明会を行う（12月8日に時間がもらえるか確認）
- ・設立総会を行う（時期は学校につくられる運営協議会に諮る）

5 その他

- ・次回の部会は今後の進捗を見て検討することとしました。